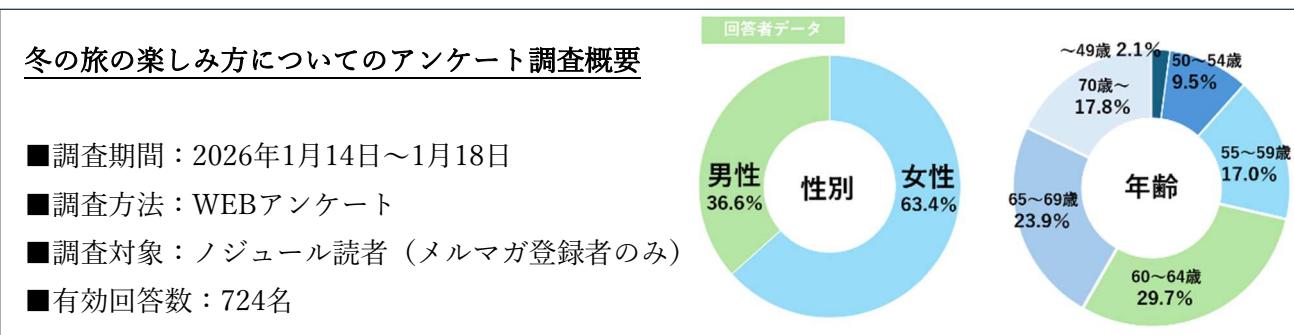


寒い時期だからこそその喜びがそこにはある！ 旅好きな50歳以上が答える「冬旅」の楽しみ方

50歳からの旅と暮らし発見マガジン『ノジュール』がアンケート調査を発表



JTBグループで旅行・ライフスタイル情報を提供する株式会社JTBパブリッシング（東京都江東区、代表取締役 社長執行役員：盛崎宏行）は、50歳以上をメインターゲットとする月刊誌『ノジュール』（年間定期購読誌）の読者を対象に、冬の旅の楽しみ方について、WEBアンケート調査を実施しました。



※調査主体および本調査結果をもとにした『ノジュール2月号』（2026年1月発行）の「早春の沖縄へ、おとな旅」特集に関して、ノジュール編集部（JTBパブリッシング）への取材も可能です。

※本リリース内容を掲載いただく際は、出典「ノジュール編集部調べ」と明記をお願いいたします。

旅好き読者のうち81.5%の人が

寒い季節の中でも旅行を楽しんでいます。

寒さも厳しく、出かけるのが億劫になりがちな冬ですが、まずはそんな冬に旅行をする頻度について伺いました。

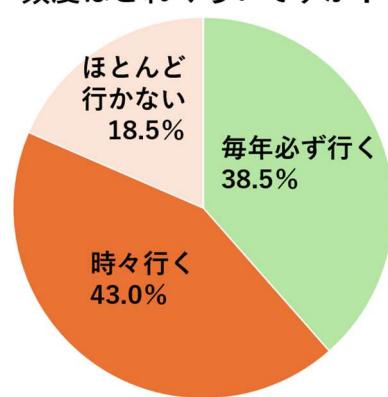
毎年冬に必ず旅行するという人は38.5%。

時々行く、という人は43.0%で、

旅好きな読者のうち81.5%の人が

冬の旅を楽しんでいることがうかがえました。

冬（12～2月）に旅行する頻度はどれくらいですか？



n=724

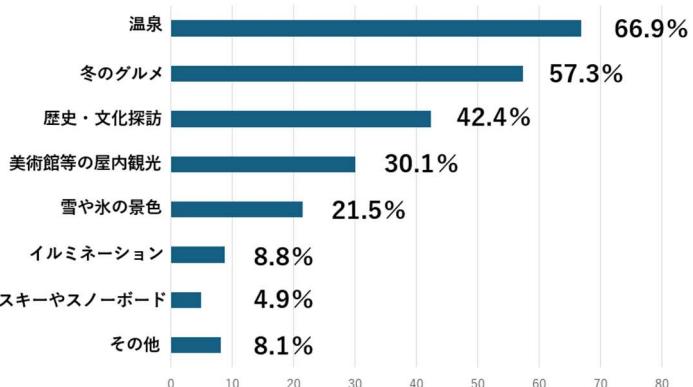
冬旅のお楽しみは温泉やグルメ！

「冬の旅で楽しみにしていること」についても聞いたところ、66.9%の人が「温泉」と回答。

次いで「冬のグルメ」が57.3%。

「歴史や文化」について冬旅で巡る、といった人も42.4%いらっしゃいました。

冬の旅で楽しみにしていることはなんですか？（複数回答可）



n=590

冬ならではの楽しみを目的に

お気に入りのエリアへ。

「冬の旅行でよく行くエリアは？」という質問をしたところ、関西エリアが1位となり、

次いで関東、東海、甲信越、九州と続きました。

具体的には、「冬の特別拝観のために京都へ」、

「永平寺へ雪景色を見に」、「カニを目的に福井県三国へ」、

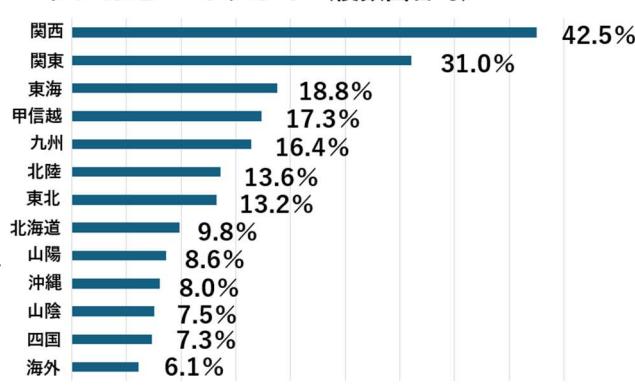
修善寺など伊豆半島の温泉地」、「奥日光などの

バードウォッッチングができるところ」

といったコメントが挙がっていました。

冬の旅行でよく行く

エリアはどこですか？（複数回答可）

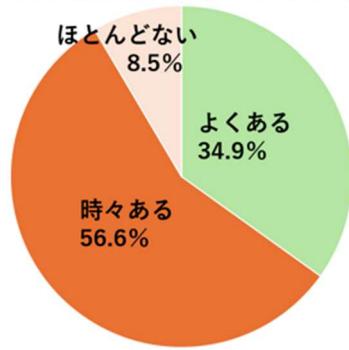


n=590

冬にあえて旅する理由は、その季節ならではの魅力を満喫するという人が多数。

冬の旅行閑散期にあえて旅行をすることがあるかどうか伺うと、「よくある」「時々ある」とお答えいただいた人が合わせて9割程度。

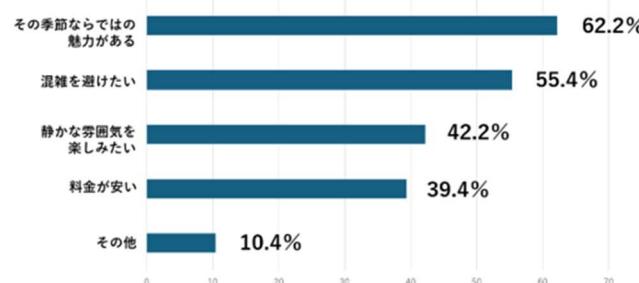
旅行閑散期といわれる
1月中旬～2月に
あえて旅行をすることはありますか？



また、冬の旅行閑散期にあえて旅行をする理由を尋ねたところ、62.2%の人が「その季節ならではの魅力がある」と回答。続いて「混雑を避けたい」という人が55.4%、「冬の静かな雰囲気を楽しみたい」という回答も42.2%ありました。

他の理由としては、「家族の休みを合わせやすい」、「特別公開や拝観などが多い」といった意見が見られました。

この時期にあえて旅行をする理由はなんですか？（複数回答可）

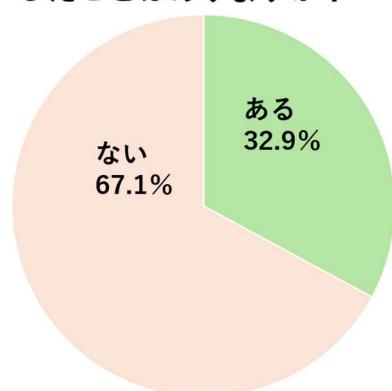


n=540

冬の沖縄でひと足早い春を楽しむ。

ノジユール2月号では「早春の沖縄」を特集。そこで「冬に沖縄旅行をしたことがあるか」も伺ってみました。「ある」という回答は32.9%。行ったことがある人にさらにおすすめを聞いたところ、「冬の沖縄で桜と最速で出合う」、「伊江島でのホエールウォッチング」、また、「プロ野球の沖縄キャンプに行く」というコメントが見られました。

冬（12～2月）に沖縄旅行をしたことはありますか？



n=590

『ノジュール2月号』の大特集は、「早春の沖縄へ、おとな旅」



『ノジュール』では、おすすめの旅プランや、旅を快適に過ごすヒントなどの情報を提供し、ひとり旅を応援し続けています。2月号では、「早春の沖縄へ、おとな旅」を特集しています。オフシーズンの沖縄こそおとなが楽しめる魅力がいっぱい。悠久の歴史を感じさせる絶景や、やちむん・紅型などの手仕事、満天の星が降りそそぐやんばるの森などをご紹介します。リゾートではない沖縄で、おとな旅を楽しんでみませんか。

『ノジュール2月号』は、2026年1月末発行。

年間定期購読受付中です。

<定期購読のお申込みはこちらから>

<https://nodule.jp/1p202403.html>

※ノジュールは書店では販売しておりません。

<お問い合わせ先>
J T B パブリッシング ブランド戦略室 pr-team@rurubu.ne.jp